

下田まち遺産案内

1

しもだふじ
下田富士

P9 参照

下田富士には有名な伝説があり、「下田富士は1番の姉、駿河の富士が中、八丈富士は末の妹の3姉妹。美しい駿河富士に嫉妬した下田富士は屏風(天城山)を立て、妹を見まいとした。姉の姿が見られず心配した駿河富士は背伸びしてあんなに背が高くなってしまった。2人の姉がどうか仲良くなるようにと今も八丈富士は祈り続けている。」というもので、この伝説から下田富士は昔から下田の人に愛されていることがわかります。

上写真 下田富士頂上にある社。
下写真 下田湾越しの下田富士。



3

ねすがたやま
寝姿山

P10 参照

遠くから見ると、女性が寝転んでいるように見えることから寝姿山と呼ばれています。その他にも万蔵山や武山と呼ばれ、鉾山があったといわれています。幕末には黒船来航時の見張り台も置かれていて、歴史も感じられる場所です。また、高根山から寝姿山に向かうルートも人気のハイキングコースとなっています。

上写真 寝姿山自然公園内にある砲台跡。
下写真 北西から見た寝姿山。



2

しもだふじようがんせつり
下田富士溶岩節理

P9 参照

息を切らせながら頂上付近まで登ると岩盤が現れます。まるで地を這う背骨のようなその場所は、「馬の背」と呼ばれ、はるか昔に活動を終えた海底火山が伊豆と本州の衝突とともに隆起、浸食され、火山の中心にあったマグマの通り道が姿を現したものです。馬の背では、大地の力強さを感じられます。

上写真 溶岩節理近景。
下写真 下田富士を上る途中にある溶岩節理。



4

ねすがたやまからのちょうぼう
寝姿山からの眺望

P10 参照

タイムスリップできれば江戸時代に「出船入り船三千艘」と謳われるほど栄えた下田港の様子、嘉永7年(1854)の黒船来港、吉田松陰の密航の企てなど数々の歴史を一望できたであろう場所が寝姿山です。下田港のはるか先には伊豆七島、そして西方には稲生沢川沿いに広がる下田のまちを見ることもできる下田らしさを感じる場所です。

上写真 寝姿山から見た犬走島。
下写真 寝姿山から見た下田湾。



下田まち遺産案内

5

ねすがたやまのかんざくら
寝姿山の寒桜

P10 参照

1月から咲き始める桜として有名な寒桜は、優しい薄紅色をしています。その薄紅色の中で緑色のメジロが元気に飛び回っている様子を見ると、一足早い春の訪れを感じさせてくれます。寒桜は伊豆の春の使者として知られていて、春を待ちわびている人にぜひ訪れてほしい下田まち遺産です。

上写真 寒桜の花。
下写真 満開の寒桜。



7

やまざくら
山桜

P9 参照

深根城址の北側、しだれ桜の後ろに巨木が空に向かって真っすぐ立っています。かつて、多くの桜が木炭生産に利用される中、この桜は地域の人々に守られ、伐採を免れたといい、現在では南伊豆地方随一の巨木となっていて、市の天然記念物に指定されています。若葉と花が同時に開き、若葉の色は緑色や赤褐色、黄色などになり、花よりもむしろ若葉の色が美しいとの声もあります。深根城址を訪れた時にはぜひとも見ていただきたい下田まち遺産です。

上写真 山桜開花時の近景。
下写真 満開時の山桜。



6

ふかねじょうし
深根城址

P9 参照

室町時代に深根周辺を拠点とした関戸播磨守吉信の居館跡。延徳3年(1491)北条早雲が蕪山の堀越公方を攻め、追われた足利茶々丸が深根城主関戸氏のもとに逃げ込み(諸説あります)、北条方と激戦が行われたといわれています。現在は、春には大きなしだれ桜をはじめとする多数の花々が咲き、下田の隠れた名所となっています。

上写真 なまこ壁の蔵と民家が建つ深根城址。
下写真 深根城址遠景。



8

おちあいたかねはくさんじんじゃ おびしゃ
落合高根白山神社 鬼射

P9 参照

落合の高根神社では、毎年2月11日に鬼射という神事が行われています。裏側に「鬼」と書かれた的を弓矢で射るもので、見事に射通せばその年の災厄は退散し、五穀豊穡であると伝えられています。その起源は戦国時代にさかのぼるとされ、500年近くの間、落合の人々によって受け継がれてきた下田まち遺産です。

上写真 弓を引く射手。
下写真 28m先の的に向かって射る。

